

相模川 河川水辺の国勢調査 【魚類調査 位置図】

調査年度：平成19年度 調査(2007年度)



- : 調査地点 (この番号が、次の確認種リストの調査地点番号と対応しています。)
- : 相模川流域 (降った雨や雪の水が、相模川に集まってくる範囲です。)
- : 相模川水系の河川。太く示した河川は、京浜河川事務所が管理しており、調査は管理区域内で実施しています。
- 【道路】 — : 国道、 — : 有料道路 【鉄道】 — : JR線、 — : その他の鉄道

相模川 河川水辺の国勢調査【魚類調査 確認種リスト】 調査年度:平成19年度(2007年度)

No	目名	科名	種名	学名	重要種		特定外来生物等		相模川		
					環境省RL	神奈川県RDB	特定	要注意	調査地点番号		
1	ウナギ目	ウナギ科	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	DD						
2	ニシン目	ニシン科	コノシロ	<i>Konosirus punctatus</i>							
3	コイ目	コイ科	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>		DD					
4	コイ目	コイ科	ギンブナ	<i>Carassius auratus langsdorfii</i>							
5	コイ目	コイ科	オイカワ	<i>Zacco platypus</i>							
6	コイ目	コイ科	カワムツ	<i>Zacco temminckii</i>							
7	コイ目	コイ科	アブラハヤ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>		NT					
8	コイ目	コイ科	ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>		NT					
9	コイ目	コイ科	モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>							
10	コイ目	コイ科	ムギツク	<i>Pungtungia herzi</i>							
11	コイ目	コイ科	タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>							
12	コイ目	コイ科	カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>		NT					
13	コイ目	コイ科	ニゴイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>		VU			-	-	-
14	コイ目	コイ科	スゴモロコ属	<i>Squalidus sp.</i>							
15	コイ目	ドジョウ科	シマドジョウ	<i>Cobitis biwae</i>		NT					
16	ナマズ目	ナマズ科	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>		注					
17	ナマズ目	ゴンズイ科	ミナミゴンズイ	<i>Plotosus lineatus</i>							
18	サケ目	キュウリウオ科	ワカサギ	<i>Hypomesus nipponensis</i>							
19	サケ目	アユ科	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>							
20	ダツ目	メダカ科	メダカ	<i>Oryzias latipes</i>	VU	CR			-	-	-
21	ヨウジウオ目	ヨウジウオ科	ヨウジウオ	<i>Syngnathus schlegelii</i>							
22	カサゴ目	コチ科	マゴチ	<i>Platycephalus sp.2</i>							
	カサゴ目	コチ科	コチ科	<i>Platycephalidae sp.</i>							
23	カサゴ目	カジカ科	カマキリ	<i>Cottus kazika</i>	VU	CR			-	-	-
24	スズキ目	スズキ科	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>							
25	スズキ目	シマイサキ科	コトヒキ	<i>Terapon jarbua</i>							
26	スズキ目	シマイサキ科	シマイサキ	<i>Rhyncopelates oxyrhynchus</i>							
27	スズキ目	キス科	シロギス	<i>Sillago japonica</i>							
28	スズキ目	アジ科	イケカツオ	<i>Scomberoides lysan</i>							
29	スズキ目	アジ科	ギンガメアジ	<i>Caranx sexfasciatus</i>							
30	スズキ目	ヒイラギ科	ヒイラギ	<i>Nuchequula nuchalis</i>							
31	スズキ目	タイ科	ヘダイ	<i>Sparus sarba</i>							
32	スズキ目	タイ科	クロダイ	<i>Acanthopagrus schlegelii</i>							
33	スズキ目	タイ科	キチヌ	<i>Acanthopagrus latus</i>		DD					
34	スズキ目	メジナ科	メジナ	<i>Girella punctata</i>							
35	スズキ目	クロホシマンジュウダイ科	クロホシマンジュウダイ	<i>Scatophagus argus</i>							
36	スズキ目	ボラ科	ボラ	<i>Mugil cephalus cephalus</i>							
37	スズキ目	ボラ科	セスジボラ	<i>Chelon affinis</i>							
38	スズキ目	ボラ科	メナダ	<i>Chelon haematocheilus</i>		DD					
	スズキ目	ボラ科	オニボラ属	<i>Chelon sp.</i>							
39	スズキ目	ハゼ科	カワアナゴ	<i>Eleotris oxycephala</i>		EN			-	-	-
	スズキ目	ハゼ科	カワアナゴ属	<i>Eleotris sp.</i>							
40	スズキ目	ハゼ科	ボウズハゼ	<i>Sicyopterus japonicus</i>		NT					
41	スズキ目	ハゼ科	ミズハゼ	<i>Luciogobius guttatus</i>		DD					
42	スズキ目	ハゼ科	スミウキゴリ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>		NT					
43	スズキ目	ハゼ科	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>							

相模川 河川水辺の国勢調査【魚類調査 確認種リスト】 調査年度:平成19年度(2007年度)

No	目名	科名	種名	学名	重要種		特定外来生物等		相模川		
					環境省RL	神奈川県RDB	特定	要注意	調査地点番号		
	スズキ目	ハゼ科	ウキゴリ属	<i>Gymnogobius</i> sp.							
44	スズキ目	ハゼ科	ウロハゼ	<i>Glossogobius olivaceus</i>		注					
45	スズキ目	ハゼ科	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>							
46	スズキ目	ハゼ科	アシンロハゼ	<i>Acanthogobius lactipes</i>							
47	スズキ目	ハゼ科	ヒメハゼ	<i>Favonigobius gymnauchen</i>							
48	スズキ目	ハゼ科	ヒナハゼ	<i>Redigobius bikolanus</i>							
49	スズキ目	ハゼ科	ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius giurinus</i>		NT					
50	スズキ目	ハゼ科	シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp.CB							
	スズキ目	ハゼ科	ヨシノボリ属	<i>Rhinogobius</i> sp.							
51	スズキ目	ハゼ科	アカオビシマハゼ	<i>Tridentiger trignocephalus</i>							
52	スズキ目	ハゼ科	ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>							
53	スズキ目	ハゼ科	サツキハゼ	<i>Parioglossus dotui</i>		DD					
54	スズキ目	タイワンドジョウ科	カムルチー	<i>Channa argus</i>							
55	カレイ目	ヒラメ科	タマガンゾウビラメ	<i>Pseudorhombus pentophthalmus</i>							
56	フグ目	フグ科	クサフグ	<i>Takifugu niphobles</i>							
合計種類数 : 11目25科56種											

【表の見方】各種が確認された調査地点には、“ ”を示しました。(調査地点の番号は、調査位置図の番号と対応しています。)
 なお、下記の重要種に該当する種のうち、環境省RL、東京都RL、神奈川県RDBのカテゴリーが「VU:絶滅危惧 類」以上の種と、環境省RLのカテゴリーが「LP:地域個体群」の種については、保全上の理由から確認された調査地点を示していませんが、いずれかの調査地点で確認されています。

重要種・特定外来生物等選定基準

【重要種】 環境省RL(レッドリスト): 環境省(2007)「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト(汽水・淡水魚類)」において、以下のカテゴリーに選定されている種。
 EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧 類(CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類)、VU:絶滅危惧 類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足
 LP:絶滅の恐れのある地域個体群
 神奈川県RDB(レッドデータブック): 神奈川県生命の星・地球博物館(2006)「神奈川県レッドデータ生物調査報告書」において、以下のカテゴリーに選定されている種。
 EX:絶滅、EW:野生絶滅、CR+EN:絶滅危惧 類、CR:絶滅危惧 A類、EN:絶滅危惧 B類、VU:絶滅危惧 類、NT:準絶滅危惧、減:減少種、希:希少種
 要注:要注意種、注:注目種、DD:情報不足、DD(A):情報不足A、DD(B):情報不足B、不明:不明種、LP:絶滅の恐れのある地域個体群

なお、重要種には、上記に加えて「文化財保護法」で指定される“天然記念物”、および「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」で指定される“国内希少野生動植物種”に該当する種も含まれますが、本調査の調査地点では確認されていません。

【特定外来生物等】特定:「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づき、生態系・人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼす(またはその恐れがある)生物として指
 要注意: 環境省により、外来生物法による規制とは別に、「生態系に悪影響を及ぼしうることから、利用に関わる個人や事業者等に対し、適切な取り扱いについて理解と協力をお願いするもの」として選定された種。

「No.」欄が空白になっている行がありますが、これは確認された生物の“種名が判別できなかったため、科や属等の分類群のみを記録した”ものです。これらは原則として、合計種類数を計数する際、カウントしていません。

なお、河川水辺の国勢調査結果は、全国的に統一されたマニュアルに基づき、集計等のとりまとめを行っています。
 マニュアルは「水情報国土データ管理センター(<http://www5.river.go.jp/>)」で公開されています。(河川環境データベース > 河川版 > 河川水辺の国勢調査ツール > 平成18年度河川水辺の国勢調査マニュアル基礎調査編[河川版]を参照してください。)